

ヒト-動物の共生による発がん性感受性の変化の解析 ：より健康な環境づくりに向けて

私たちが取り組んでいます！



関本征史（代表者）



高木敬彦



良永裕子

ほか3名

【研究チーム】

代表者：関本 征史（生命・環境科学部 環境科学科 環境衛生学研究室 准教授）

メンバー：遠藤 治（生命・環境科学部 環境科学科 環境衛生学研究室 教授）

杉田 和俊（獣医学部 獣医学科 公衆衛生学第一研究室 講師）

高木 敬彦（獣医学部 獣医学科 公衆衛生学第一研究室 教授）

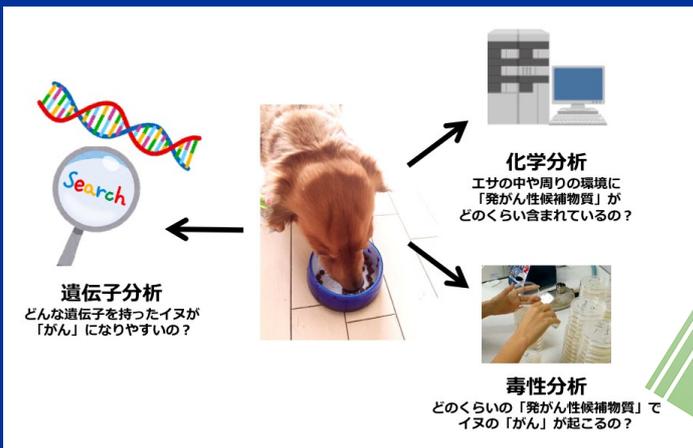
山本 純平（生命・環境科学部 食品生命科学科 公衆栄養学研究室 助教）

良永 裕子（生命・環境科学部 食品生命科学科 食品分析学研究室 教授）

めざすこと（研究目的）

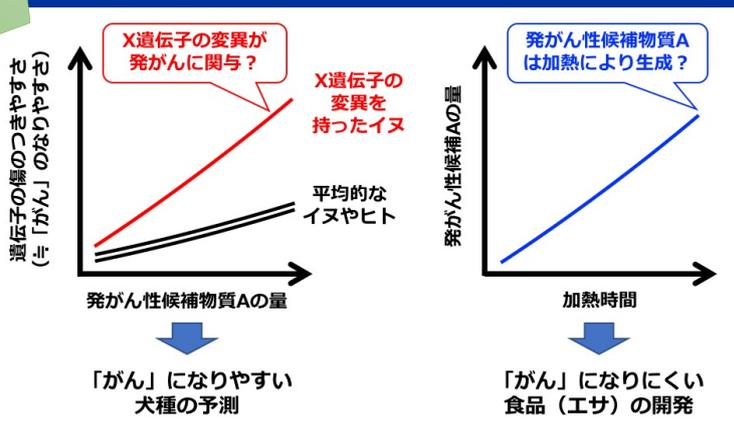
ペットもヒトも「がん」になりにくい食生活環境の創出

やること（研究方法）



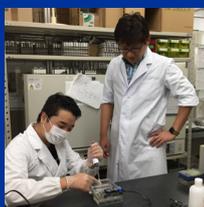
イヌに「がん」を起こす原因物質を探し、その物質ががんを起こすメカニズムを解析

わかること・できること（成果）

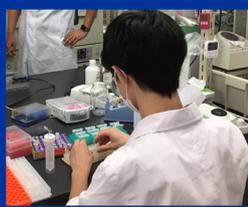


ヒトやイヌに対して「がん」を起こすリスクが高い成分を含んだ食品を予測 効果的な「がん」予防に

こんなふうに研究しています！



遺伝子の分析を行っているところ



イヌ肝臓の異物活性化能力を調べているところ

キーワード解説

遺伝毒性： DNAを傷つけ、遺伝子変異を引き起こす性質
遺伝子変異が重なると細胞が「がん」化する

